

【教育目標】

○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子



【栗野小のめざす子】

5つの気（本気 やる気 和気 元気 根気）のある子
5つの気ですてきな学校を創ります。 文責 茅島 拓

令和3年10月21日
住 所：鹿沼市栗野802
TEL：85-2034
FAX：85-2125

〈公式ホームページ〉

アクセスはQRコード
をご利用ください。



〈10月 神無月〉日本、地域の伝統、風習について

10月を「神無月」（かんなづき）（かみなしづき）と呼ぶのは諸説あります。中でもよく知られているのが、毎年、旧暦の10月に全国から神様が出雲大社に集い、その期間は各地の神様がなくなるため「神無月」と呼ぶようになったということです。出雲大社の地元では「神在月（かみありづき）」と呼ばれ、神々を迎える浜で「神迎神事」を執り行います。同じ10月なのに地方で呼び方が違うのは面白いですね。

本地区を流れる「思川」もお米の豊作を願い「田を思う川」の意味から「思川」という名がついたとも言われます。すてきなネーミングです。昔の人々の熱い思いを感じますね。

地域内には「十九夜」の石碑がたくさんあります。調べてみると旧暦の十九日には回り番の当番の家に集まって「十九夜様の石仏の前にお供えをして、塔婆を立て、月が出るまで飲んだり食べたりする」ということでした。日頃から家事や子育てに忙しかった女性の楽しみとして行われたということです。最近の社会情勢の中、失われつつある風習ですが、折に触れそうした由来を知ると多忙な日常生活の中に潤いを感じますね。

〈2年生担任〉新しい先生が着任しました。

10月1日より2年生担任の安野陽子が半年間の内地留学（宇都宮大学）となりました。代わりに東小学校より加藤美規が着任しました。専門は体育です。着任早々運動会となりましたが、これまでの経験を生かし、係の仕事、子供たちの指導にスムーズに取り組んでいました。2年生保護者の皆さんは11月の個人懇談でどうぞお話しください。

〈運動会〉スローガン 『心を燃やせ 本気でがんばる運動会』

10月2日に緊急事態宣言が明け、台風一過の青空の下、運動会が実施されました。今年の運動会は当初9月11日に予定されていた期日を再延期しました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき何とか実施にこぎ着けました。本当にありがとうございます。

サプライズでとち丸君もやってきました。半日でありましたが、多くの場で「心を燃やす瞬間」に出会うことができました。



とちまる君が駆け付け、一緒にダンスを踊りました。軽快な動きにみんな

びっくりしました。

〈人を叱る3つのコツ〉 井村 雅代

1 現行犯で叱る (アーティストイミツゴー・粕尾代表ヘッドコーチ)

○今のそれがだめなんだ、
「この前も同じこと言ったじゃないか」は古いことを持ち出されると今やったことの反省が薄れる。また、しつこく叱るのも叱る本人の自己満足にすぎない。聞いている方は「もう分かったよ」と嫌気がさす。

2 叱るときは本気で向き合う

○自分に本気で向き合っているかは小さい子でも分かる。中途半端なら知らないふりの方がまし。

3 叱ることはその子の可能性を信じる

○自分の目の前の子はこのままでは終わらない。今より必ずよい状態になる。よくなるまであの手、この手で引き上げようとする。

厳しい口調で叱る場面を見ることが多い井村さんですが、選手に手書きのメッセージを送り、労を労うなどのフォローを欠かせなかったと言います。



とちまる君と記念撮影



〈修学旅行〉

10月13日～14日、歴史学習と関連の深い福島・会津方面に出かけました。福島の修学旅行は昨年に引き続きの実施です。今回の活動は学習との接点があること、様々な体験活動が実施できること、そしてその体験が後の生活につながることを重視し行いました。1日目は雨のスタートでしたが夕方には晴れ間が出て、2日目は青空に恵まれました。日新館にある会津藩「什（じゅう）の掟」によると自然の遊びのうちに社会人としての基本を教えることをねらいとして、子どもは子ども同士、年長者と同年輩の中で覚えていくのが自然であると言うのが藩の方針とありました。

近隣の遊びの仲間10人を一組として「遊び」をさせ「お話」をするという制度に発展させることで幼い子でも無理なく年長者への尊敬や礼儀を覚えたと言うことです。今の学校教育に共通する面がたくさんあることに感心しました。不易の教えであることを実感しました。



野口英世記念館



鶴ヶ城で集合写真



会津藩校日新館で弓道にチャレンジ



ホテルでテーブルマナー教室

〈2年生 研究授業〉

へんをつく



9月22日、「同じへんの漢字のなかまを集めて、へんのひみつを見つけよう」のめあての下、自分の集めた漢字のへんは何に関係しているのか、さんずいは水、にんべんは人 等出し合いました。どの漢字が正しいのか迷ったときに、漢字の意味を考えると正しいへんを導くことができます。

〈5年生 森林学習〉 森林の学びとティッシュボックスづくり

10月5日、栗野木材協会、栗野商工会の皆様のご指導の下、杉や檜のよさ、鹿沼市内の森林面積、森林の大切な働きなど様々なことを学びました。昨年に引き続いての活動です。

木に囲まれた生活は心が落ち着きます。香りに癒やされます。そして体験活動によって一層木の価値を理解することができました。檜のティッシュボックスは改良を重ね更に作りやすい物にしてくださいました。

〈4年生 自然体験学習〉 板荷自然体験交流センターで学びました。

10月6日、1日の活動でしたが、火起こし体験、杉板焼きなど粕尾小の子と一緒に活動しました。粕尾小の子は2019年には本校で学習したことがあります。すでに顔なじみでしたが、自分



11月の行事予定

5日 学習発表会 学校評議員会議 12日 かぬま教育の日13：00下校
19日 共遊 22日～26日 個人懇談14：05下校 12月1日 持久走大会

竹は秋に芽を出し春に枯れるという、普通の本々とは逆の生長パターンをもっています。春は筍が生え出るために養分をとられてしまい、竹自体は衰え、紅葉したり、落葉したりします。しかし秋になると新しい葉を出し、鮮やかな色を取り戻します。その様子を「竹の春」と呼ぶことはとても趣深く新鮮です。これから寒くなるこの季節に生命の息吹を感じるの気持ちがいいですね。

